

Web ブラウザ版の WebView サポート終了について

DataHub のバージョン 7、8、9 に含まれております視覚化機能「WebView」は、Microsoft 社の Silverlight テクノロジーを使用し、Internet Explorer Web ブラウザを用いて HMI の作成や構築する製品です。この度、2021 年 10 月に Microsoft 社による Silverlight サポート終了に伴い、この Internet Explorer を用いた Web ブラウザ版の WebView のサポートを終了するはこびとなりました。

後継製品としまして、Windows デスクトップ アプリケーションの WebView (Desktop WebView) が DataHub バージョン 9 と 10 を対象にリリースされております。バージョン 8 以前をご使用で、保守サポート契約にご加入いただいているお客様は、バージョン 9 もしくは 10 にアップグレードいただくことで Desktop WebView をご使用いただけます。

1. 以前のバージョンの上にバージョン 10.x をインストールする。

詳しくは下記のCogent DataHub Webサイトをご参照ください。

<https://cogentdatahub.com/download/technical-specifications/v10-with-earlier-versions/>

インストールする際の注意事項

<https://cogentdatahub.com/download/technical-specifications/installation-notes/>

① 以前のバージョンを実行しているシステムへのDataHub V10をインストール

- DataHub V7またはV8を実行しているシステムにDataHub V10をインストールすると、インストーラは、以前のバージョンのDataHubをアンインストールするように要求します。DataHubV10がインストールされ、以前のコンフィグレーション・ファイルの設定が読み込まれます。
- OPC DataHub V6.4を実行しているシステムにDataHub V10をインストールすると、以前のバージョンから構成をコピーするかどうか尋ねられますが、これは以前のバージョンを置き換えるということではありません。同じシステム上でOPC DataHub V6.4とCogent DataHubを実行することができますが、構成の変更を必要とする場合があります。
- 現在のDataHubの設定のバックアップを作成したい場合は、DataHubコンフィグレーション・フォルダの内容をコピーしてください。このフォルダの場所は、実行しているオペレーティングシステムによって異なります。

② コンフィグレーションおよびライセンスファイルの格納場所

DataHubのコンフィグレーションのバックアップを作成する場合は、DataHubコンフィグレーションディレクトリの内容をコピーすることでバックアップができます。このディレクトリの場所は、実行しているオペレーティングシステムによって異なります。詳細については、この[リンク](#)をご参照ください。

③ DataHub V10とV9、V8、V7またはV6.4の間をトンネリングする

- DataHubソフトウェアV10とV9、V8、V7、V6.4の間をトンネリングで接続することが可能です。V10とV6.4の間をトンネリングすると、DataHubのネットワーク接続が単純なスター構成ではない場合にライセンスに関する既知の問題が発生する可能性があります。
- WebSocketを使用してV10、V9、V8およびV7の間をトンネリングすることが可能ですが、V10とV6.4の間は、非SSL接続を使用のみトンネリングすることが可能です。
- V9/V10がクライアント接続である限り、V10とV9、V8、V7間のプロキシを介してトンネリング接続が可能です。
- DataHub V9/V10のトンネリングに関する既知の問題が一つあります。DataHub V10とV9間のバイナリトンネル接続は成功しますが、V9/V10とそれ以前のバージョン間のバイナリトンネル接続は失敗します。これらは成功したように見えますが、データ値は配信されません。DataHubのイベントログには、接続の方向によってはエラーメッセージが記録される場合があります。これは、タイムスタンプの表現が32ビットから64ビットに変更されたことにより必要となったものです。テキスト接続（非バイナリ）は、V10とそれ以前のバージョン間で互換性があります。

④ WebViewページとメディアをDataHub V10に移動する

- V10にアップグレードすると、DataHub インストーラは古いWebView ページを新しいフォルダにコピーし、それらをWebView V10で表示できるようにします。これを手動で行う場合は、以下の手順を実行してください。
- ユーザーによって生成されたコンテンツは、Program Files フォルダではなく、DataHub コンフィグレーション・フォルダに保存されるようになりました。

⑤ デフォルト設定フォルダ

デフォルトのコンフィグレーション・フォルダは次のとおりです。

C : ¥ Users ¥ < Windows ログイン > ¥ AppData ¥ Roaming ¥ Cogent DataHub

ここでの< Windows ログイン >は、Windows へのログインに使用したユーザー名です。コンフィグレーション・フォルダは、DataHub の-H コマンドラインオプションを使用するか、DataHub Service Manager アプリケーションから設定することで変更することが可能です。

⑥ 個人用ファイル

▪ admin ユーザーとして WebView にログインして、WebView V8 で作成したページファイルは、下記に保存されています。

C : ¥Program Files (x86) ¥Cogent¥Cogent

DataHub¥Plugin¥WebServer¥html¥Silverlight¥Pages¥Users¥admin

これらのページを WebView V9/10 で使用するには、次の場所にコピーする必要があります。

< Configuration Folder > ¥ WebContent ¥ Content ¥ Organizations ¥ Local ¥ Users
¥ admin ¥ Pages

▪ WebView V8 で追加した個人用画像は、下記に保存されています。

C : ¥Program Files (x86) ¥Cogent¥Cogent

DataHub¥Plugin¥WebServer¥html¥Silverlight¥Images

これらの画像を WebView V9/V10 で使用するには、次の場所にコピーする必要があります。

< Configuration Folder > ¥ WebContent ¥ Content ¥ Organizations ¥ Local ¥ Users
¥ admin ¥ Images

▪ メディアファイルとスクリプトファイルについても同じことを行う必要があります。

⑦ 公開ファイル

▪ WebView V8 で作成した、公にアクセス可能なページや画像などを作成したファイルは、下記に保存されています。

C : ¥Program Files (x86) ¥Cogent¥Cogent

DataHub¥Plugin¥WebServer¥html¥Silverlight¥Pages

これらのファイルは、次の場所にコピーする必要があります。

< Configuration Folder > ¥ WebContent ¥ Content ¥ Organizations ¥ Local ¥ Pages

▪ 画像、メディアファイルおよびスクリプトの同様にコピーする必要があります。

⑧ カスタムコントロール

▪ カスタム WebView コントロールを作成している場合は、Silverlight でしか機能しません。デスクトップ WebView 用にこれらのコントロールを別々に再コンパイルする必要があります。

Controls と ControlAssemble は、Silverlight バージョンと WPF バージョンで区別されるようになりました。例えば、MyCustomControl.dll というカスタムコントロール DLL を作成した場合は、DataHub V8 の次の場所にインストールします。

C : ¥Program Files (x86) ¥Cogent¥Cogent

DataHub¥Plugin¥WebServer¥html¥Silverlight¥ControlAssemblies¥Company¥MyCustomControl.dll

- DataHub V9/V10 では、以下のいずれかの場所にインストールしてください。

C : ¥Program Files¥Cogent¥Cogent

DataHub¥Plugin¥WebServer¥html¥Content¥Common¥ControlAssemblies¥Company¥Silverlight¥MyCustomControl.dll または、

< Configuration Folder > ¥ WebContent ¥ Content ¥ Organizations ¥ Local

¥ ControlAssemblies ¥ Company ¥ Silverlight ¥ MyCustomControl.dll

- Silverlight バージョンと WPF バージョンで異なる場合は、カスタムコントロールの XAML ファイルと XML ファイルを同様に区別する必要があります。

2. 以前のバージョンの上にバージョン 9.x をインストールする。

詳しくは下記のCogent DataHub Webサイトをご参照ください。

<https://cogentdatahub.com/download/technical-specifications/v9-with-earlier-versions/>

インストールする際の注意事項

<https://cogentdatahub.com/download/technical-specifications/installation-notes/>

3. Desktop WebView を起動する

「DeskTop WebView」の説明は、「[Cogent DataHub 入門ガイド](#)」第二章 9項に記載しております。